合計額② ((a×b) ×

c/ (a+c))

16,232,675

社会福祉充実残額算定シート 1. 「活用可能な財産の算定」 項目 金額 手入力(必須入力)するセルです(※「社会福祉法人の財務諸表等電子開示システム」搭載版では、他シートを参照するための計算式が設定されていますので、手入力は不要となります。) 順目 資産(a) 負債(b) 基本金(c) 国庫補助金等特別積立金(d) 797,338,235 計算式が設定されており、入力することはできません。 263,117,522 398,745,266 手入力するセルです。 (不明の場合は、記載要領に従って入力してください) 合計 (a-b-c-d) 1,164,361,858 合計額を算出するための計算式が設定されており、入力することはできません。 2.「社会福祉法に基づく事業に活用している不動産等」 プルダウンリストから選択するセルです。直接入力することはできません。 (1) 財産目録における貸借対照表価額 合計 (a) (2)対応負債 項目 金額 1年以内返済予定社会福祉連携推進業務設備資金借入金 1年以内返済予定設備資金借入金 1年以内返済予定リース債務 社会福祉連携推進業務設備資金借入金 設備資金借入金 リース債務 516,271,000 合計 (b) 544,807,000 (3) 合計 金額 項目 明産目録合計 (a) 対応負債合計 (b) 対応基本金 (c) 国庫補助金等特別積立金 (d) 合計 (a – b – c 263,117,522 合計(a – b – c – d) 372,862,75 3.「再取得に必要な財産」 (1) 将来の建替費用 (2) 大規模修繕に必要な費用 建設単価等上昇率 自己資金比率 ※大規模修繕額が不明な場合 建設時域へ床面積 (小数点以下第4位 を四捨五入) 建設時自己資金 大規模修繕実績額 減価償却架計額 ①建設工事費 デフレーター -般的大規模修繕 ② 1 ㎡当たり単価上昇率 ④建設時自己資金比率 滅価償却累計額 費用比率 (b) ①、②のいずれか ③一般的自己 建設時自己資金 建設時自己資金 合計額 大規模修繕実績額 貸借対照表価額 ③、④のいずれか 一般的 1 ㎡当たり 当該建物の建設時の 建設時延べ床 単価 (a) 取得価額 (b) 面積 (c) a/ (b/c) 高い方の率 2,836.570 古賀市新原字大田町840番地種類 老人木-ム 1,325.0㎡ 1,325.000 84,350,79 138,692,420 古賀市新原字大田町840番地附属設備 1,486.53㎡ 1,486.530 138,692,420 1,486.530 24.0% 50,827,9 古賀市新原子大田町840餘地内カ崎総市 1,100000 宗像市河東福崎の前1072-1種類 老人木-ム 2,796.38㎡ 合計 2,793.380 214,316,000 ※ 割合は小数点第4位四捨五入。 (3) 設備・車輌等の更新に必要な費用 199,994,945 合計 (4) 合計

4	「必要な運転資金」	

- 項目 将来の建替費用 大規模修繕に必要な費用 設備・車輌等の更新に必要な費用

項目	金額		月数	合計額
年間事業活動支出	803,324,803	12	3	200,831,200

金額

93,816,20 591,838,360

5.「計算の特例」

項目	金額		月数	合計額
年間事業活動支出	803,324,803	12	12	803,324,803

6.「社会福祉充実残額」

項目	金額	控除対象財産計	計算の特例適用
活用可能な財産	1,164,361,858		
社会福祉法に基づく事業に活用している不動産等	372,862,755		※「5. 計算の特例」の適用有無を
再取得に必要な財産	0		例」の適用有無を 変更する場合、以
必要な運転資金	0	1,1/0,18/,558	下のセルから選択す
計算の特例	803,324,803		ること。
合計	-11,820,000		適用する

7. 「現況報告書に記載する「社会福祉充実残額」」

項目

合計

金額
0
-11,820,000